

- 問1 九州地方の太平洋側に位置する宮崎市は、暖流である黒潮の影響を強く受けています。この地域の気候の特色を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 周囲を山地に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく乾燥している。
 2. 1月の平均気温が0度を下回り、夏は短く涼しいが、冬の寒さは非常に厳しい。
 3. 冬でも温暖な気候であり、6月や9月を中心に年間の降水量が非常に多い。
 4. 北西からの季節風の影響で、冬の降水量が非常に多く、雪が降りやすい。
- 問2 鹿児島県周辺に広がるシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、または畜産が盛んに行われてきた理由として最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、稲の成長が早すぎるため。
 2. 土壌が非常に硬く、田を耕すことが困難であるため。
 3. 土壌の保水力が低く、水が地中にしみ込みやすいため。
 4. 標高が高く、夏でも気温が上がらず冷害が発生しやすいため。
- 問3 沖縄県の農業は、温暖な気候を活かした亜熱帯農業が特徴です。農業産出額の品目別割合を示した統計において、さとうきびなどの工芸作物を含む項目の割合が約40パーセントに達し、全国的に見ても独自の構成となっています。この項目に含まれる、沖縄県で生産が盛んな代表的な工芸作物はどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 稲（米）
 2. 茶
 3. さとうきび
 4. 野菜
- 問4 九州地方のある県における2019年の農産物産出額の統計では、上位から順に「肉用牛」、「豚」、「ブロイラー（鶏）」、「鶏卵」となっており、上位4品目すべてを畜産関連が占めています。このような特徴を持つ県として最も適切なものを選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 福岡県
 2. 宮崎県
 3. 鹿児島県
 4. 熊本県
- 問5 宮崎平野や高知平野で行われている促成栽培には、生産者にとってどのような利点があるか。最も適切な説明を選べ。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 夏の涼やかな気候を利用して、暑さに弱い野菜を品質良く栽培できる。
 2. 広大な土地を利用して、大型機械を使った効率的な生産ができる。
 3. 消費地である大都市に近いので、新鮮なまま輸送コストを安く抑えられる。
 4. 他の地域が出荷できない時期に出荷することで、高い価格で販売できる。
- 問6 北九州市では、かつて経済を支えた鉄鋼業などの重厚長大産業が衰退し、産業構造の転換期を迎えています。1980年ごろを境に人口減少が続いている状況において、都市の土地利用に見られる変化として最も適切な説明はどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
1. 鉄鋼業の再興を待つため、工場跡地は一切の手を加えられず放置されている
 2. 広大な工場跡地が、住宅地や商業施設へと再開発されている
 3. 食料自給率を向上させるため、工場跡地のすべてが農地に転換されている
 4. 人口減少を食い止めるため、工場跡地をすべて大規模な公営墓地にしている
- 問7 鹿児島県では農業産出額が全国トップクラスであるとともに、製造品出荷額の第1位を「食料品」が占めています。このように、鹿児島県の工業において食料品工業の割合が高い理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 広大な平野を利用した稲作が中心であり、余った米を酒類や菓子類に加工して大都市圏へ大量に輸送する体制が整っているため。
 2. 高速道路沿いに半導体工場などの先端技術産業が集積したことで、そこで働く労働者向けの冷凍食品製造が急増したため。
 3. 県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それらを加工して付加価値を高める産業が発達しているため。
 4. 大規模な港湾施設を活かして海外から安価な穀物を輸入し、臨海部のコンビナートで加工してから全国に配分しているため。
- 問8 人口増減率がプラス〇点四七パーセントを示している沖縄県の産業構造について、統計資料から読み取れる特徴を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 広大な平原を利用した大規模な機械化農業が中心であり、製造品出荷額も全国トップクラスである。
 2. 海面漁業の漁獲量が国内最大であり、それに関連する食料品製造業の出荷額が県内産業の半分以上を占める。
 3. 製造品出荷額は全国的に見て低い水準にあるが、温暖な気候を活かした畜産業などが盛んである。
 4. 人口増加に伴い、自動車産業などの重化学工業が急成長し、製造品出荷額が九州地方で最大となっている。
- 問9 鹿児島県の農業において、米や野菜の生産額よりも畜産の生産額が圧倒的に多くなっている背景として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものを選んでください。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 冬でも温暖な気候を利用して、大消費地向けの野菜を他の地域より早く出荷する促成栽培に特化したため。
 2. 火山噴出物によるシラス台地が広く分布し、水はけが良すぎて稲作に適さない土地を有効活用するため。
 3. 平野部が極めて狭く、山地での放牧が唯一の農業手段として古くから定着してきたため。
 4. 梅雨時期の降水量が極端に少ないため、乾燥に強い家畜の飼育が地域の主要産業となったため。
- 問10 沖縄県の観光産業における現状と課題について、外国人観光客の満足度や不満度の統計的な傾向をふまえて説明した文として、適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 宿泊施設での対応には満足している一方で、観光地でのWiFi環境が完全に整備されているため不満は存在しない。
 2. 言葉によるコミュニケーションへの評価が低く、インターネット接続環境への不満が目立つ。
 3. 現地の食事や土産品に対する満足度が著しく低く、観光資源の質の向上が求められている。
 4. 公共交通機関の利便性については高く評価されているが、外国語での案内表示が全くないことが不満に繋がっている。
- 問11 沖縄県は年間降水量が全国的に見ても多い地域ですが、古くから深刻な水不足に悩まされてきました。その自然環境的な理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 地形が平坦で大規模な盆地が多いため、雨水が地表に溜まらずにすぐ地下へ浸透してしまうから。
 2. サンゴ礁が発達している影響で、河川に塩分が混じりやすく飲料水として利用できる水が限られているから。
 3. 山地から海までの距離が近く河川の長さが極端に短いため、降った雨が蓄えられず速やかに海へ流出してしまうから。
 4. 年間を通して日照時間が非常に長く、ダムに蓄えられた水の大部分が蒸発して失われてしまうから。
- 問12 地形図において、標高の高い平坦な面である「台地」の部分に、アルファベットの「V」の字に似た地図記号が多数記されている場所があります。シラス台地におけるこの場所の状況を説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 雨水を溜めるための調整池が並ぶ、水田地帯になっている。
 2. 火山灰の飛散を防ぐために、落葉広葉樹が植えられた森林になっている。
 3. 地力を高めるために、果樹の苗木を植えたばかりの果樹園になっている。
 4. 水はけの良さを利用して、サツマイモや飼料作物などが栽培される畑になっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 冬でも温暖な気候であり、6月や9月を中心に年間の降水量が非常に多い。	宮崎県は日本の南部に位置し、さらに沖合を流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響を受けるため、1月の平均気温が約10度におよぶなど、冬でも非常に温暖です。また、夏から秋にかけては太平洋側から吹く湿った季節風や台風の影響を強く受けるため、梅雨時期の6月や台風シーズンの9月に降水量が急増し、年間降水量が極めて多い「太平洋側の気候」に属します。これに対し、冬に降水量が多いのは日本海側の気候、年間を通じて降水量が少ないのは瀬戸内側の気候や中央高地の気候の特徴です。
問2	答え 3 土壌の保水力が低く、水が地中にしみ込みやすいため。	シラスは火山から噴出した粒子の集まりであり、粒と粒の間に隙間が多いため、水を通しやすいという性質を持っています。そのため、水田に必要な水を溜めておくことが難しく、乾燥に強い作物を中心とした畑作が発達しました。
問3	答え 3 さとうきび	沖縄県は年間を通じて温暖な亜熱帯気候に属しており、他の都道府県では栽培が困難な作物が中心となっています。特に、砂糖の原料となる「さとうきび」は、加工を目的として栽培される「工芸作物」に分類されます。沖縄県ではこの工芸作物の産出額が非常に大きく、統計上でも大きな割合を占めているのが特徴です。一方で、水資源の確保が難しい島嶼部の特性などから、稲作の割合は極めて低くなっています。
問4	答え 3 鹿児島県	鹿児島県は九州地方の南部に位置し、広大なシラス台地を利用した畜産業が非常に盛んです。特に肉用牛、豚、ブロイラーの産出額は全国でもトップクラスであり、農業産出額の多くをこれらの畜産品が占めているのが特徴です。選択肢にある宮崎県も畜産業は盛んですが、この統計順位に最も合致するのは鹿児島県です。
問5	答え 4 他の地域が出荷できない時期に出荷することで、高い価格で販売できる。	促成栽培は、冬でも暖かい気候やビニールハウスを利用して野菜を早く育て、他の産地からの出荷が少ない冬から春にかけて出荷することで、高値での販売を狙っています。「輸送コスト」は近郊農業、「冷涼な気候」は抑制栽培、「大型機械」は北海道などの農業の特徴です。
問6	答え 2 広大な工場跡地が、住宅地や商業施設へと再開発されている	北九州市は官営八幡製鉄所の創業以来、鉄鋼業を中心に発展してきましたが、産業構造の変化や海外との競争激化により鉄鋼業が占める割合は低下しました。これに伴い、かつての広大な工場跡地は、都市の活力を取り戻すために大規模な再開発の対象となり、テーマパークやショッピングモール、集合住宅などに姿を変えています。このように、古い産業の基盤を新しい都市機能へ書き換える動きが各地で見られます。
問7	答え 3 県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それらを加工して付加価値を高める産業が発達しているため。	鹿児島県は、シラス台地の特性を活かした肉用牛、豚、鶏などの畜産業が日本屈指の規模を誇ります。これらの地元の農産物を原料として、精肉加工や缶詰、焼酎、菓子などの「食料品」へと加工する工業が地域に根付いているため、農業と工業が密接に関係しながら産業構造を形作っています。
問8	答え 3 製造品出荷額は全国的に見て低い水準にあるが、温暖な気候を活かした畜産業などが盛んである。	沖縄県は全国で最も高い出生率を背景に、統計上で人口増減率がプラスを示す特徴があります。産業面では、輸送コストや電力供給の制約から大規模な重化学工業が発達しにくい、製造品出荷額は低くなります。その一方で、肉用牛や豚などの畜産業、さらにはサンゴ礁の発達した海域での海面漁業など、地域の自然環境を活かした第一次産業が統計上の特色となっています。北海道や鹿児島県も畜産業や漁業が盛んですが、人口増減率の傾向が異なります。
問9	答え 2 火山噴出物によるシラス台地が広く分布し、水はけが良すぎて稲作に適さない土地を有効活用するため。	鹿児島県には過去の火山活動によって形成された「シラス台地」が広がっています。この地層は水はけが良すぎて水田に必要な水を貯めることが難しいため、稲作よりも、サツマイモ栽培や、広い土地を必要とする畜産業が盛んになりました。現在では、この環境を活かして肉用牛、豚、鶏のいずれにおいても全国トップクラスの生産量を誇っています。
問10	答え 2 言葉によるコミュニケーションへの評価が低く、インターネット接続環境への不満が目立つ。	外国人観光客が沖縄観光において直面している課題は、主にソフト面（外国語対応）と通信インフラ面（WiFi）に集中しています。統計データにおいて「外国語対応能力」の満足度が最低水準であり、かつ「WiFi」への不満が最高水準であるという事実は、観光客が滞在中に情報の取得や発信にストレスを感じている状況を反映しています。食事や土産品といった要素よりも、これらの受け入れ態勢の整備が急務となっています。
問11	答え 3 山地から海までの距離が近く河川の長さが極端に短いため、降った雨が蓄えられず速やかに海へ流出してしまうから。	沖縄県の河川は、全国平均と比較して長さが非常に短いという特徴があります。沖縄島南部などの地図を確認すると、山地から海へ直接注ぐような短い河川が数多く見られます。このような急峻で狭い地形では、台風や梅雨によって一時的に大量の雨が降っても、その水が内陸に留まることなく短時間で海へ流れ出てしまいます。この地理的要因が、降水量が多いにもかかわらず水資源の確保を困難にしている背景にあります。
問12	答え 4 水はけの良さを利用して、サツマイモや飼料作物などが栽培される畑になっている。	「V」の字のような地図記号は「畑」を表します。シラス台地はその地質上の特性から水が得にくく、かつては「不毛の台地」とも呼ばれましたが、その水はけの良さを逆手に取り、乾燥に強いサツマイモや、現代では広大な土地を活かした畜産のための飼料作物の栽培など、大規模な畑作農業が展開されています。